

■プレゼンテーション 4■

市民の市民による市民のための哲学カフェとは？

キーワード：地域、市民、新しい、小さい、哲学カフェ

東京メタ哲学カフェ

1 東京メタ哲学カフェについて

東京メタ哲学カフェにおいては、哲学カフェ運営者やこれから運営したい人（10人くらい）が集まって、お互いの哲学カフェの情報交換・交流を行い、自らの会の参考にするとともに、哲学カフェについてメタ的に対話することを楽しんでいる。この東京メタ哲学カフェの活動内容について概略を説明する。

2 東京メタ哲学カフェにおいて主体となっている各哲学カフェの紹介

「東京メタ哲学カフェ」において主体となっている哲学カフェ（東京圏の比較的新しい哲学カフェ）の活動内容を事例として紹介する。紹介するのは「人生カフェ」「ねりまの哲学対話“ねりテツ”」、「対話の実験室@公-差-転」「ヨコハマタイワ」である。

3 東京圏の哲学カフェについて

「哲学カフェ&哲学対話 wiki」に集まっている情報から、東京圏の大人向けの哲学カフェを概観してみる。

4 問いと若干のコメント

〈問い〉

学校、大学、会社、町会、老人クラブなどのような一定の枠の中の哲学カフェに対して、一般市民のために開かれた哲学カフェとは何か？

〈若干のコメント〉

- *自治体（市区町村）レベルくらいの地域の哲学カフェについて
- *公共施設（集会施設、公民館、図書館等）を活用した哲学カフェについて
- *学校教育内と対比した生涯学習（社会教育）的な哲学カフェについて

◎関係者同士がゆるやかな連絡・連携をしましょう。

5 アンケートのお願いとブース（展示発表）へのご案内

皆さんと一緒に「市民の市民による市民のための哲学カフェとは？」という問いを今後深めていく上で、サブテーマや新たな問いを立てるために、簡単なアンケートをお願いするとともに、ぜひブースにも足をお運びください。

【東京メタ哲学カフェ】ここ2年くらいの間に東京圏で発足した大人向け哲学カフェ・哲学対話の会の有志が集まっている。今のところ、人生カフェ、ねりまの哲学対話“ねりテツ”、ヨコハマタイワ、対話の実験室@公-差-転などが主体である。2~3か月に1度くらいの割合で会を開いている。ここに哲学カフェ運営者やこれから運営したい人（10人くらい）が集まって、お互いの哲学カフェの情報交換・交流を行い、自らの会の参考にするとともに、哲学カフェについてメタ的に対話することを楽しんでいる。